

駒場松桜会報

駒場高等学校同窓会会報
1990年3月1日 NO.46

財団法人 駒場松桜会
(事務毎月曜10時～4時)

〒153 東京都目黒区大橋2-18-1 都立駒場高校仰光寮
TEL 03-466-7579 振替番号 東京9-28486

世紀末十年を迎え、世界の情勢も大きく
変わりそうな気配を見せている時、駒場高校
は八十八周年を迎えようとしています。人
間ならば米寿のお目出たい年に、校舎(体
育館も含めて)改築が本決まりとなり、何
か佳いことありそうな気もしないではあり

ませんが、仰光寮の処遇が気になる所です。
昨年10月、老朽激しい仰光寮の維持が困難
ならば、それに代わる建物を建ててほしい
と、東京都教育庁施設部へ陳情しました。
今後、強く働きかけてゆかねばならないで
しょう。



思い出多き学舎に
名残を惜しみつつ

一九九〇年の松桜会総会を左記の通りに
開催いたします。姿を消す校舎へのお別れ
の気持ちをこめての開催ですので、駒11回
以降の方々にはふるって御参加いただき
たいと思います。

総会終了後は、校舎お別れ会を兼ねた懇
親会をいたします。沢山の方々(先生、生
徒)の思い出のスピーチ、コーラス合戦、
福引、コチロン大舞踏会等ワイワイと楽し
くやれたらと思います。懇親会終了後は、
全教室を開放して下さる事になっており
ますので、恩師を開いてのクラス会、同
期会や合同ホームルームなどを計画なさ
つて、大勢の方が総会及び懇親会に参加されま
すよう、また御便宜をお計らいいたします。
で、お早目に御連絡をお待ちしております。
尚、新入会員42回生を歓迎いたします。
松桜会初めての企画でございますが、全
員をご招待いたしますので、賑やかにご参
下さい。

- 一、総会
○日時 5月20日(日) 13時～13時30分
○会場 駒場高校体育館
- 二、懇親会
○日時 総会終了後 13時30分～15時30分
○会場 駒場高校体育館
○会費 二千元
但し新入会員は無料
申込締切 4月末日
準備の都合がありますので、新入
会員も必ず申込をして下さい。
- 三、その他
○コーラス合戦に参加して下さい。グルー
プは、5月14日までに申出下さい。
○福引の景品のご寄付をお願いします。
(5月14日まで)
○コチロンの講習会を開く予定です。
参加御希望の方は事務局へ問合せ下さい。

駒 42 | 保
原 田
智 恵



♪真理さんといっしょ♪ ＝コンサート楽しく終了＝

「卒業生による松桜会行事」の第一回として企画された「真理シ・コンサート」こどもの歌「一〇〇年」は、'89年10月20日(金)サントリーホール小ホールに於て開催されました。



松桜会委員のほか駒場高校PTA及び在校生、職員等の絶大な協力を得て、切符も完売でき、手作りの音楽会を盛り上げようという熱気あふれた素晴らしいコンサートとなりました。

切符は完売したものの、果して皆さんがお集り下さるだろうかと事務局の心配を事にしつつ、午後六時を過ぎ、卒業生を中心集り

そここで楽し気なおしやべりがはずんでいる様子。うれしかったのは思ったより男性の姿が多かったこと。

河村さんの日本の童謡の成り立ちの平易な解説に、同じ歌詞による二人の作曲家の競作(歌、砂山)を興味深く味わうことができた。第二部では、真理さんといっしょに「七つの子」故郷を会

真理シ・さんは駒場九回卒、芸大在学中にNHKのオーディションに合格、「うたのえほん」の初代「うたのおねえさん」として活躍された方。昭和38年には「おもちゃのチャチャチャ」で、日本レコード大賞童謡賞を受賞されたことものうたの本格派。



加藤登紀子リサイタル

1990年10月11日(木) 19:00開演予定

NHKホール(渋谷区神南)

料金 未定
申込み 駒場松桜会(月曜のみ)
03-466-7579

11月20日のニューヨーク・カーネギーホールでの公演をひかえ、秋の全国ツアーの東京公演です。大ヒット曲「百万本のバラ」「難波船」などを含む加藤登紀子の総集編。

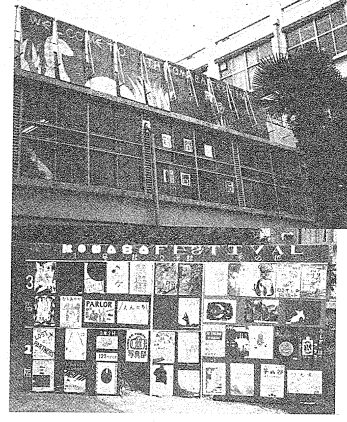
駒場の卒業生ということで、一般ではなかなか取れないチケットを特別の御配慮で松桜会に、座席を確保していただきました。座席に限りがありますので、お早目にお申し込みをお願いします。

駒高 学園祭レポート

9月23・24日駒場高校の学園祭が開催されました。昨年に引き続き松桜会も参加し、同窓生の絵、書、工芸品等の作品展示とスポーツ界で活躍している先輩紹介の展示会場及び同窓生と在校生の交流の場とすべく、お休み處を準備いたしました。松桜会報編集委員が見た学園祭報告は以下のとおりであります。

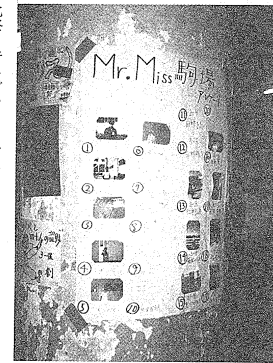
駒場東大前駅方面から来る、正門上に大きな横断幕「3rd KO-MABA FESTIVAL」が眼に入ってきた。一号館と二号館をつなぐ橋の屋上にも「WELCOME TO 3rd KOMABA FESTIVAL」(写真①)とあり、駒場高校も国際化されたものと感じた。

校舎入口前に各クラブやクラスの催物のポスター(写真②)が整然と掲示されている。なかなかの力作揃いである。今回は第37回と



いうことであるから、第一回は昭和27年に開催されたことになるのか。ポスターに関しては昔よりはるかにスマートになっているようである。

しかし、学園祭のパンフレットの中で高橋校長先生が「かつては日頃の活動、研究の成果を発表する機会のない文化関係の部に對し、年一度の機会として設けられた貴重な行事であった」と言われているが、たしか昔は、学園祭とか、FESTIVALではなく、文



化祭と呼んでいたと思う。昨今は外部への発表というより、在校生自身が皆で「結」に集む。お祭り」的要素が強くなっているように感じた。

正門を入って右側の二号館から一号館、生徒ホール、体育館、音楽室そして仰光寮と回ってみた。まず二号館三階の一番奥の松桜会展示会場を訪れた。正に文化祭の展示である。そのあと廻った各教室は今風の飾り付けのおけ屋敷、迷路、喫茶店などなかなかの賑わいである。中には松桜会展示と同じおとなしい教室もあるにはあったが。

松桜会展示御出品の方々

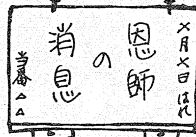
◎絵画
小川富美子(24東) スケッチ画
森 麗子(34中) フラブリックビ
クチュア(刺繍画)
堺 綾子(34西) バナール画
迫田恭子(駒16) 油彩
◎書
松本洋子(駒4・2) 水墨画
森鳴恭子(駒5・5) 書(巻子)
子
◎染色
橋爪康子(高等科19東) 紅型額
岡 美智子(34東) 草木染和服
山本多美(34東) 草木染帯
◎活け花
坂尾雄子(駒5・6) 小原流

生徒ホールをのぞく「FOL K&ROCK」のライブである。一日五グループが演奏を競うことになる。全部で十グループで「消火栓」に対して消火栓なんかさきからだなどのグループ名がある。演奏者だけでなく、観客も身体で音楽を聴いている。デイスコの寮体育館、グラウンドそしてプールでは剣道、サッカー、水泳と招待

場全員で歌い、心が洗われるような感動を味わうことができました。終りにリクエストにより、水色のワルツを歌っていただき、また聴衆も和し、そして最後は、真理さん他全出演者に、男性も含むファンから花束が贈呈され、名残りつきない楽しいコンサートを終りました。

◎真理さんの感想
○真理さん素晴らしい。童謡を見直した。(男性)
○楽しい音楽会でした。今後の松桜会の事業に期待します。(男性)
○真理さんは在学中から憧れの女性。花束を贈呈させてもらえて光栄です。(男性)

な、今回の音楽会開催にあたり、駒場高校PTAには後援をお願いし、引き受けていただき、又、在校生美術部の方々は、切符、チラシの製作のお手伝い等、多くの皆様のおかげをいただきました。ここに改めて心から御礼申し上げます。



このコーナーも三回目となり、主として昭和四十年代前半に在職された先生方に登場していただきました。御多忙の中のお願ひに、御協力をいただき、心から御礼を申し上げます。おたずねさせていただきました項目は、①御年令 ②御在任期間と担当教科 ③その間の思い出 ④御近況 となっております。

青木 爽

- ①昭和12年生れ、52才です。
- ②40年より62年まで22年間、国語
- ③学校紛争：特に私の組には学校封鎖をした生徒が多く、心労も一通りでなかった。しかし不思議なことに、この駒22回生のクラス会が多く、今も継続しています。
- ④63年より都立城北高校教頭。趣味はテニス、近くのファミリーテニスクラブに入り十年以上、松会会員、五賀氏、山本氏とこのクラブでの良きライバルです。

牧野 洋一

- 熊本市常山1-33 56
- ①55才
- ②37年4月、40年3月。(社会)
- ③創立六十周年記念誌の編集のお手伝いをしました。
- ④東京オリビックの陸上競技の応援のため生徒さんと一緒に国立競技場にでかけたこと。
- ⑤熊本商科大学教養部教授。

田中 所寛行

- 東大和市南橋3-13 13
- ①57才(昭和7年生れの戦中派です)
- ②38年9月、43年3月、国語科。
- ③個性豊かで魅力溢れる生徒諸君と、心から尊敬できる先生方にめぐり会えたことに尽きます。
- ④昨年から次城キリスト教大学文学部に勤務しております。
- ⑤63才

岩瀬 重雄

- 中野区上高田3-15 12
- ①63才
- ②43年4月、46年3月、数学科。
- ③駒場高のあと小石川高校で16年間勤めて定年退職。現在は河合塾の時間講師で週3日の授業と、旺文社全国大学入試正解の解答傾向と対策(数1)などの参考書、雑誌の原稿書きが主な仕事です。わかり易い学習参考書のより良いものを自らが健康でがんばっています。

河合 佳枝

- 横浜保土ヶ谷区露合133 70才になりました。
- ①講師を入れますと十一年間、十五年間、社会科日本史。
- ②楽しい毎日でしたが、ハッキリ印象に残っておりますのが学園紛争です。私にとりまして有意義でした。
- ③時間に余裕のある生活もよいものと思いつつ毎日を通してあります。

吉田 弘安

- 岩槻市上里1-11 18
- ①54才です
- ②39年4月1日、60年3月31日(21年間、理科(地学))
- ③「良い思い出」すぐれた先生方と一緒に21年間にわたって優秀な生徒諸君を情熱をもって指導できたこと。

井上文孝

- 相模原市若松2-14 2
- ①53才
- ②38年、45年度、保健体育担当
- ③すばらしい同僚の先生方と生徒達にめぐまれた環境条件の中で仕事できたことを感謝しています。
- ④大正大学勤務、保健体育担当。



第三の歴史と共に

大正四年から五年間第三高女に学んだ私は、同年卒業、日本女子大師範科に学び、同三年卒業と共に再び第三高女に今度は教師として奉職しました。先生方は殆どと恩師でしたから暖かく見守って下さる中で日々はほんとうに有難いこと許りでした。そして生徒にはそれぞれ家庭の環境がよく行われていた時代でした。あの頃から見ると全然世相の変わった今日、娘という字は無くなったのではないかと辞書を見ましたら、「娘は姪とも書く」といふ国字で礼儀作法を教習することと書いてありました。娘は心身を美しく保つ為に大切な事なのだと思います。あの頃は「してはならぬ事」しなれてはならぬ事」を家庭でも学校でも教わられました。第三でも作法の先生は特に厳しく教えて下さいました。ですから礼儀作法は形だけでなく心から伴わなければならないことを知りました。昭和十九年退職するまでの私の第三での二十五年間はすべて教えられ乍ら

教えたという恵まれたものでした。今はどこでこの娘は行われているのでしょうか。私はこの間、学校では家庭の事を考えぬよう、家庭では学校の仕事をせぬようにつとめてはおりましたけれど、決して充分な教育者ではありませんでした。それなのに今もたえず暖かい下さる卒業生の方々の温情は身に沁みて嬉しく思います。今の世相からは到底考えられないような兄弟の絆のあった昔をなつかしく回想し、心から感謝しております。

八年頃で、移築されてから「仰光寮」という福福が正面玄関に掲げられました。移築に先立って、一応下見に来る様にとの宮家からの御沙汰により、東京府や学校の代表が参上しましたが、この時同窓会からも二名参りました。同窓会は移築の費用の一部を賄出したのであったかと思えます。先輩の長滝松代先生の御伴を、私は身の固い心をはずませ乍ら、御殿のあちこちを宮家の方に御案内頂きました。いよいよ山の校庭の一隅に御殿が立派に移築された時は学校を挙げて盛大なお祝がありました。運動会や芸術会共の他の催しが行われ、この時久保宮大妃殿下(皇太后様御母君)と三條西福子夫人(皇太后様御妹君)をお迎えして仰光寮前で時の府知事と広瀬校長が侍って記念写真が写されました。このお祝いは大勢のお客様が来られ、沢山の食事を作るのに夢中で働いた事を思い出します。その昔仰光寮で御勉強された卒業生はさまざま世の推移の中、この三月六日には八十七才を迎えていました。御不例と承りますのでひたすら御快癒を御祈り申し上げる許りでございます。

久保田洋氏(駒22-7)は、「国連で働くことは、高校生としては夢だった。私は、国連の活動を通して、より大きく世界に貢献できることを確信している」と。国連に提出した履歴書で、応募理由を述べている。募集年令より四才も若くして業績により、'81年から国連欧州本部人権担当官となり、数多くのポストを歴任し、人権助言援助計画研修課程教官・デンマーク国立人権センター客員教授として活躍、「実践国際人権法」(三省堂)ほか和・英文著書、論文も多数にのぼり、足跡は三十数ヶ国

に及んで、「人権のためにその生涯は捧げた」と。アフリカのナミビア独立への任務を帯びて、国連の仕事により具体的に参加できる機会として赴任する翌日、昨年6月27日、38才で交通事故により殉職との報は、各新聞紙上で御記憶の方もおられると思う。世界の人権被害者の為に働き、研究し、理論・実践の両面からの業績は、今後の期待も大きく、'87年の満日の際には、当時3年の40回、7、8日を訪れ、感銘を与えた。抱負に燃えて志願し、最後となった任務は、一国の独立のため、自由のたれ、解放のたれという、逆らいたがたい、押えることのできなないチャレンジでもあった。貴重な資料が収集されているスウェーデンのシャヴァン・ド・ボジーの自宅は、そのまようアフリカとして保存したいというのが、遺志を継ぎ国連に採用された夫人の希望とのことである。

第三高女から駒場高校へ 俺たち駒場の男の子

卒業して三十有余年 熟年を迎えた男たち

昭和22年4月から六・三・三制が実施された。昭和24年4月には、男子を募集し二〇数名が入学した。校名も第三高女から第三女子高校、そして駒場高校へと変更された。翌25年4月からは普通科男子一〇〇名、女子二〇〇名、男女の比率一対二で募集が行われた。また、同時に保健体育科と芸術科が新設され、それぞれ男女四〇名づつの募集も行われた。

昭和から平成へと時が流れ、当時の男子生徒たちも今や五十歳を過ぎて熟年を迎え、各界で活躍している。今回は、三鷹市立第三小学校長大塚孝氏(駒四一七)と祝設計株式会社代表取締役祝光一郎氏(駒五一三二)のお二人に当時の思い出を含めて、色々とお話をうかがった。レポーターは、衆太郎(駒六六)。



大塚 孝氏(駒四一七)
現役時代、硬式野球部を設置した一人。東京学芸大学教育学部卒業。文京区立青柳小学校、品川区立山手小学校教諭。東京都教育委員会多摩事務指導室主任を経て、現在三鷹市立第三小学校校長。

制中学制服の者が多かった。学区制ができたこともあるが、当時は交通機関を利用するのは大変だった。世田谷、渋谷の付近から通う者が多かった。私立からも経済的理由や近いというだけの理由で受かった者も多い。

学校中が暗模索

上級生はもうどうしてか「大塚」まるで、珍しい者を見ようだった(笑)。年下の男子に話かけるのにも、どう話かいていけなかった。そうかといつて、無視できないような、何と

言うか、はにかみとも言うのか、とも困っていた。同級生も、あまり慣れ慣れしくも出来ないうさばれとて席が隣ともなれば、そっけない態度を取れず

それに、当時は男女の成長の速いなか、女性の方が大きく、こちらも圧倒された。ときには、坊やさんともある。

先生方も第三時代からの古い先生が多く、男の先生で、この頃が困っていた。当然怒鳴られるようなことが怒られなかった。また逆に、授業中など、ことさら男子が褒められたりした。学校全体が暗模索の時代だったのかも知れない。

「二年目以降、後輩の男子生徒も入学してきたわけですが、当時を振り返って、学校の状況やエピソードなどをお聞かせ下さい。私の記憶だと、一年の時に男子だけ集められて、大塚さんたち三年生に気合を入られたことがありましたが(笑)」

「大塚」やった、やった。あれは確か学園祭の前だ。皆で協力してと話をしたため、男子全員を集めた。その時、元気のいいのが態度の悪い二、三人に、確か鉄拳制裁を加えたな。(笑)

改善されたトイ

「大塚」二年目以降、変わったのはトイ。我々が入学して一番困ったのはトイ、旧兵舎の女子校に改修したために、男性の女子に教師用トイレ、男の生徒に大は男女共用、あのころは建て付けも悪、隣間だらけだった。それと、あの頃食料事情も悪い

のに、メンバーも揃わない野球部に校内合宿が許された。コッペパンをかきりながら合宿した。今だつた許されないことだ。

そうだ、校舎の前の中庭だったか、あそこワイヤーで組立式の鉄棒が設置された。女子校だったから鉄棒なんてありやしない、たつた一だつたが、皆でよく使った。車輪や大砲を飽きもせず練習した。他に運動用具もなかったからな。

「今、考えると教育環境、特に施設、設備はひどかったですね。あの兵舎を転用した校舎、石ころだらけのグラウンド、今じゃ考えられないですね」

「大塚」野球をやってもバックネットがない、エラーすれば壁に止まるまで走っていったし、そういう時代だからこそ、色々な事を体験した。グラウンドの草取り、重たい土だったコンクリートを掘り起す。崖を降りる道を作る。体育の時間は、陸上と球技以外は、もっぱら作業だった。

でも、よく勉強した。図書館でよく本を貸してくれた。あの頃、とても貴重なもの貸してくれた。同級生の現状

「ところで話は変わりますが、駒四の先輩たちの卒業後はどうですか。お聞かせいただきたいの」

「大塚」最近、クラス会をやっている。あまり詳しいことは言えないが、あまり詳しくいことある当時、確かに成績はあまり良くなかったが、大学入試でこでなければという切実感、あま

り無かった。先生の方も生徒の實力が判って、何処な入られる。そこは駄目と適切に助言してもらった。今みて、進学を希望していた者は全部入っている。

現在だが、青木が朝日新聞の特派員、萩原が日大病院の医官、小林が萩原のサンシャイン地区の開発委員長で事業家、まだいるかどうかわかりませんが、田村は丸紅から独立して子会社の社長になった。西幹が横河パッカーの部長、技師屋では小田金、まあ、民間会社にいるのはそろそろ、役員になる頃かな。各界で結構それぞれ活躍しているよ。

最後に一言お願いします

「大塚」高校時代は、あまり目の前のことを考えずに、時間を有効に使って楽しんでました。高校の時、思い出の一つや二つなければ駄目だ。それには、叱られたっていいから、思い切った中かすることが大切だ。

前に述べた同級生の中には、親が在学中に亡くなった、天涯孤独になって、働きながら大学に入った者もいる。また、同級生同士で結婚し、永年努力をして、手広く事業をしている者もいる。

今の様な恵まれた環境にいると新しい事の創造することが困難になる。

最後に、同意とわかる何となくしてやろうと思うので、同意の仲間を大切に。

「どうも、いろいろと有難うございました」



祝 光一郎氏(駒五一三)
現役時代、軟式テニス部の主将。武蔵工業大学建築科、中央大学法律科卒業。中島設計室に勤務、現在は独立して祝設計株式会社代表取締役。一級建築士。

思がある駒場

「祝」祝さんは、駒場では第五回の卒業ですが、新制中学の第一回の卒業生ですね。駒場を希望した動機、入学後の感想などを、お聞かせ下さい。

「祝」僕達の世代という疎開を経験している。僕は中学になって、東京に帰ってきたが、疎開先でいじめられ、喧嘩ばかりして育ってきた。それで、うちの親父が手をやき、女子高なら喧嘩をしないだろうと、入学させた。

まあ、修羅場はあったが、なんとか喧嘩をしませんでした。成功したと言えるし、駒場には思があります。(笑)

仕事から、今でもそうした場面についてくる事もあるが、駒場での経験、役に立っている。その意味では駒場に感謝している。

同級生のことが、新しい制度ができたばかりで、個人的にも色々なケースがある。地方で生まれ育ち、初めて東京に出てきたが、東京の事情を知らずに都立だから、まあいいだろうと入学した者もいた。また、あの時は自分の点数が判って受けた。それで各教科八〇点以上取れば、駒場とか戸山をとって良いと言われた。

「祝」私が入学したのは26年にサッカー部が同好会が発足し、私もその一部となり、三年生のときに正式に部として承認され、高体連にも加盟したのですが、祝さんはクラブ活動は何をやりましたか。

「祝」僕は、小学校六年からずっと上級生で、上には上、下には下、というのが嫌だった。野球もバスケもバレーも上がいるが、テニスだけはなかった。それでテニス部に入った。それに、入学当初に上級生から何だかんだとうるさいことを言われた。電車の中でおじきしとか、それも嫌だった。上級生は女子だけ、個人競技だから男子がいなくてもいいのに、いなか。テニスをするのは軟弱だと思ったのか、でも、ラグビーの試合に人が足りないかと借り出されて試合をしたことがある。

「祝」そんなこともありますが、何処の学校か忘れてしまったが、何を動機にしたのかラグビー部のない駒場に試合を申し込んでしまった。折角だからという事になって、確かにサッカー部が中心になり、各運動部の男らしいのが集まってチームを編成し、試合をしました。私も試合に出したので覚えています。

四年間も主将を

「祝」笑われるかもしれませんが、一年の時主将をやって、二年もやって、三年もやって、卒業した後も、後輩達から僕が浪人していたので、祝さんおいでよと言ったので、一緒に試合に出たりしました。結果的には四年間も主将をやっていたことになる。四年目は表面には出られないから、隠れ主将だった。

当時は、今のインターハイをマッサー杯と言っていた。それに、今では、考えられない事ですね。ところで、祝さんは大学は何処に進まれたのですか。

「祝」僕は、二つ大学を出ています。武蔵工業大学の建築と中央大学の法律、何しろ高校時代は遊んだから、大学に入ったら勉強しようと思っ

「祝」それで、司法試験と建築士の試験を両方受けたわけ、ところが、司法試験は落ち、建築士の試験は合格したので、今の仕事をしていたわけですね。司法試験が受かったら、そっちに行っていたらうが、駄目だった。(笑)

「祝」それで、始めから独立しておやになったのですか。

「祝」いやいや、現場にもいます。だから、今にもいつか人達と違うので、まじめの話しはあまり役に立たないのではないかな。と、そんなことはありません。ところで、担任はどなたでした。

「祝」一年が久保田先生、二年が田辺先生、三年が鈴木(仁)先生が担任でした。

皆勤賞で進級

「祝」学校生活はどうでした。

「祝」何しろ、僕は学校に遊びに行っていたようなものだから、先生がいやがいが好きで、ことをやって、三年間通ってしまっ

一年の久保田先生の時、何しろ勉強しないで遊んでいたわけ、テニスをやっていた、それだから成績が悪かった。親父が通信簿を見て、先生にこれじゃどうしようもないから、落第させてくれと頼みに行った。先生が頭をかきながら、祝は落第させられませんでした。皆勤賞を落第させると、教師の責任になると断られた。(笑)

「私は駒場の三年間、新聞つくりとサッカーだけ、特にサッカーは、三年の十二月に顧問から、もういいよと言われたくらい、だから、現役で合格しても誰も信じてもらえませんでした。(笑)」

「祝」現在あるのは駒場のおかどと祝さん同様に感謝しています。ではこのへんで、有難うござい

●レポーター
衆太郎(駒六六)
現役時代はサッカー部(部長)新聞局所属。東京教育大学、現筑波大学、教育学部卒業。自衛隊体育学校、都立小山台高校教諭、都教育委員会主任指導主事などを歴任。
現在都立武蔵丘高等学校校長

●社会の動き
昭和21年(一九四六年)
1月 天皇神格否定宣言
3月 アメリカ教育使節団来日。
教育の地方委譲、九年制義務教育、教科書民主化を勧告。
5月 メーデー復活
10月 文部省、教育勅語奉読廃止を通告。GHQ、歴史教育の再開許可。
11月 日本国憲法公布
12月 六・三・三・四制による新学制実施
昭和22年(一九四七年)
4月 教育基本法、学校教育法施行、新学制実施
5月 新制中学発足
日本国憲法施行
昭和23年(一九四八年)
4月 新制高等学校発足
東京都立第三高等女学校は、三年の十二月に顧問から、もういいよと言われたくらい、だから、現役で合格しても誰も信じてもらえませんでした。(笑)

●昭和24年(一九四九年)
1月 東京都教育委員会が組織される。
4月 男子生徒を募集し、男子二十数名が入学。
7月 三鷹事件起こる。
8月 松川事件起こる。
11月 湯川秀樹氏にノーベル賞
1月 校名変更、東京都立駒場高等学校となる。
4月 普通科男子一〇〇名、女子二〇〇名、保健体育科、芸術科男女各四〇名募集
朝鮮戦争勃発
6月

支部一覧表

札幌 幹事	池田 和子 (33中)	☎ (011)852-1713
仙台 幹事	大 嶋 静 枝 (16中)	☎ (022)222-0311
藤沢 幹事	清 野 和子 (37北)	☎ (0466)22-7563
静岡 幹事	石 上 千恵子 (28西)	☎ (05462)2-3635
名古屋 幹事	土 方 久子 (39南)	☎ (0594)22-4088
北陸 幹事	土 田 一 枝 (37中)	☎ (0762)32-2777
京都 幹事	松 田 博子 (29中)	☎ (075)581-2069
関西 幹事	梅 井 弥 栄 (24中)	☎ (078)821-5962
四国 幹事	樫 村 エ ミ (41西)	☎ (0878)41-9547
下関 幹事	水 野 直 房 (駒5-5)	☎ (0832)31-4138
福岡 幹事	高 柴 富子 (34西)	☎ (092)761-3770
長崎 幹事	吉 見 としえ (24西)	☎ (0958)56-4488
熊本 幹事	玉 井 雅子 (高23東)	☎ (0963)64-0760
米子 幹事	渡 部 素子 (37南)	☎ (0859)22-5370
自由が丘 幹事	箕 浦 和子 (43南)	☎ (03)723-5963
鎌倉 幹事	山 岡 尚子 (24西)	☎ (0467)25-0678
茅ヶ崎 幹事	小 川 寛子 (36東)	☎ (0467)82-0215
所沢 幹事	秋 山 靖子 (38東)	☎ (0429)22-2053
栃木 幹事	飯 村 慎一 (駒18-2)	☎ (0286)48-1438

◎地方へ越された方は、支部へも連絡して下さい。

幹事のお骨折りで駒場の方が数十分名わたり活気に溢れましたが、この度は転出された方も多く元々の第三卒の会員の多い集りとなりました。駒場率は僅か二名、でも赤間富司水野様も下関から駆けつけて下さり黒一点。葉書が転送された東京から福岡の会の和やかさが感じると言っていました。アジア太平洋博覧会が開かれて一層発展です。ある福岡は転出入の多い都市です。御転入の駒場の方々の御連絡お待ちします。34西高柴様まで(092)761-3770。永らく支部長としてお世話下さいました伊井様、

懐 老いを感じる 今日此頃

7月92才の天寿を全うされました。36西 篠崎 幸子
昨年同窓会は京王プラザホテルで九名。皆様お元気でお顔を揃えて下さいました。21回の伊藤子様は一昨年御長男様が交通事故に遭われて以来初めていらしたものでした。御自身も気を遣われて具合が悪くなったとの事。45回の中尾子様は医師でいられる御主人様と共に二年間国際協力事業団から派遣されてアフリカの方

長 崎 めずらしく雪

へ行つていらした御苦勞話を伺いまして一同感動致しました。私は此の十年來膝を痛めてあれこれ致しましたが今では温水プールで泳ぐ事と一昨年から冬の間時々歩くスキーで何と何と歩いておりました。小さい孫が八才と五才の女児でスキーは忽ち上手になりました。上方から滑ってきます。33中 池田 和子
1月24日、この冬初めての雪と

都 初めのお世話役

昨年の京都支部のお集まりの御報告。4月10日、晴、総勢9名は少し淋しい感じがしますが、今の京



下 激動の中に

昭和天皇崩御、平成と元元、御大喪に始まった元年は、私の過去の経験に全く無い激動の一年間でした。皇居へ数度に及ぶ参内をいたしました。時の経つたことを何と早くしたことでしょう。漸く十二月九日正午、下関支部の会を開き、杉原へナ様をはじめ江本文子様、宗像市から上滝和子様の御出席をいただきました。さやかに御無沙汰のお詫びをいたした次第です。私事で恐縮ですが九月に長女を嫁がせ、先輩に習い否応なしに花嫁の父を体験しました。伴一人が未だ大学生ですから当分の間難行苦行でございます。皇室の大嘗祭が行われますが、下関の「同元氣」一杯の新春です。 駒5 水野 直房

各支部からのお便り

茅ヶ崎 不老長寿の秘訣

十月十四日ルミネサロンにて同窓会を開催。参加者二十四名。九十三歳とは信じられない程お元気な大先輩の松本様。湯河原のうゆの里からははるばるお見え下さった永松様。毎朝四時半起床、海岸をマラソンなさり公園で体操の後、再び海岸を走って五時過ぎに帰宅という朝の目録でお身体を鍛えていられる七十歳の入沢様。本当にお見事。六十三歳頃張らないとね。一老けたなんて言っているのではないと思われました。永松様に武内先生のご近況など伺ったり、入沢様に昔のアルバムを見て頂いたり、先輩方始め皆様のお話を聞きかきしている間に、たちまち時間は過ぎてお名残を惜しみながらお開きになりました。

名古屋 秋の比叡山麓周遊

秋恒例のバス周遊は、昨年11月10日、比叡山麓、大津市坂本の非公開寺院めぐりに参りました。雙蔵院、宝蔵院の曲流回遊式庭園を散策し、日頃は公開されていない里山の暖かみを感じました。旧白毫院では、石組の洞窟を抜



けたり庭園を見学後、総勢17名が緋毛氈に並んでお抹茶を味わい、好天の秋を楽しみました。坂本特有の滋養門跡の続く静かな道をたどって、滋養院門跡に入り、その堂々たる広さや格調の高さに古き時代を感じました。帰路は椅子を回して皆様向かい合ひになり、話の花を満開に咲かせながら、世界デザイン博で美しくなった名古屋駅に着きました。40代八代様、佐藤様も東京より御参加下さいました。42南 三輪 典子

関 西 花の万博を待つ

六甲山に、積雪を見る頃は、同窓会も冬眠中の様に、ひっそりと暮す会員諸婦ですが、2月恒例の

山 陰 会員の発句など

平成の年号にも慣れ、平和な暮らしふりとは言うものの、想像以上の激しきで社会は変動していくようです。当支部からは特に新しい話題はありませんが、幸い皆健康で各々の立場で、そして心を豊かに。今回は特別に、会員の生活文芸として寄稿して頂きました。

倉 心ゆたかな 年 に !!
昨年は古都鎌倉市制50周年記念の年でした。お寺で歴史の話を聞く会、八幡宮裏で秋の夜、人形師による静の舞と人間国宝の舞は幽玄の世界でした。大仏の前にはジャズコンサートというように多彩な行事で賑やかな一年でした。秋晴れの十月十四日、54名の方のお集まりで同窓会が開かれました。今回は鶴岡幼稚園を退職しました34東岡井様に司会をお願いしました。37東佐藤様よりお弁当の

次々実現の運びで、楽しみにしております。37南 渡部 素子
本 おなじみの お店にて
昨年9月4日、「おく村」で、出席者8名(片岡、福田、池部、上岡、阪田、須賀、太田、玉井)。片岡様のお力添えで楽しい福引、子供にかえたような気持ちでございました。須賀様は鹿児島からの遠路の御参加でありがたく、駅までお送り申し上げました。昨年12月26日、会の最長老、諏訪玉様(94中)が96才で御逝去になりました。熊本の茶道界、華道界の重鎮でいらされ、会員一同、心より御冥福をお祈り申し上げます。

北 陸 雪の中より

近年は暖冬続きの北陸地方も今年は三年ぶりの大雪に見舞われました。最近は見抜き通りには、地下水を汲み上げて流す融雪装置が完備され、交通面では心配ございませんが、一寸裏通りに入りますとフリーズが沈む程の雪でございす。昨年11月26日に川口様(37北)のお世話で金沢ニューグランドホテルで会を開きました。何分にも北陸支部は会員数が少なくお集まりも六、七名でございすが、今回は福井市から大杉様(38西)が久しぶりで御出席下さい。お話しは、楽しいひとときを過ごしました。冬の金沢の近江市場は、新鮮な魚貝類がお店せましと並び威勢のいい呼声で賑わって居ります。39中 土田 一 枝

岡 転入の方々 御連絡を!

平成元年の秋九州は好天に恵まれました。10月末「海幸」で例会を催しました。出席者は18名。一時、前

会費は活動の動力源 納入にご協力を!!

'89年度は会費納入を'86年分に遡って請求させて頂きましたので、会費収入は昨年より大巾に増えま

した。ご協力ありがとうございました。しかし、来年にあらしますと前年比より増えはいますが、上

		会員数	会費納入者数	百分比
'88 (63) 年分	第三	5,330	2,762	51.8 (44.6)
	駒場	13,560	3,249	24.0 (16.2)
'89 (元) 年分	第三	5,173	2,126	41.1
	駒場	13,978	2,307	16.5

()は'88年次の統計数値

表の通りです。(一)月末現在
松桜会が少しでも皆様の身近なものとなるように、と、会報も年一回発行する財団法人としての活動基金、在校後輩の援助等々と資金はまだ必要です。是非ご理解下さい。また、会費納入に協力下さい。お願いします。

89年度 松桜会行事及び活動

5月21日 松桜会総会 於港区立城南中学校体育館
懇親会 於六本木キヤッスルプラハ
9月4日 松桜会報45号発行
9月23日 母校学園祭に参加
9月24日 作品展示・小物販売
10月18日 仰光寮に関して都庁へ

90年度行事予定

10月20日 陳情
眞理ヨシココンサート
於サントリー小ホール
3月1日 松桜会報46号発行
5月20日 総会及び懇親会
9月1日 会報47号発行
9月11日 学園祭参加
10月11日 加藤登紀子コンサート
3月1日 会報48号発行

* 松桜会より皆様へ *

- ①傘寿をお迎えになられた方は年会費の納入を免除されることになっております。'90年度これに該当されるのは第三24回卒と高等科8回卒の方々です。永い間のご協力を感謝申し上げます。
- ②新規会費納入のおねがい
卒業6年目から年会費(千円)を納めて頂くことになっていきます。'90年度から納めて頂くのは駒場37期生です。宜しくおねがいたします。
- ③年会費は毎年振り込まれても、2~3年分まとめて前納して下さい。結構です。
- ④住所変更、改姓等は必ず事務局へお届け下さい。
- ⑤会宛の通信物には卒業回数、クラス又はホームを必ずご記入下さい。お忘れの方は会報送付の封筒宛名シールに記入されておりますのでご確認ください。
- ⑥同期会開催の折は事務局迄一報下さい。
- ⑦会報発送時に同封いたします振込用紙の様式が、今回より少し変更して、部活動記入の欄等設けられました。部毎の名簿作成の資料とさせていただきますので、お手数ですが是非御協力の程お願いいたします。又先輩後輩で御消息をご存じの方がおいででしたら、あわせてお書き添え、お知らせ下さいましたら幸いです。

●山口海一先生油絵展
6月 青山ギャラリーアメリカ
(表参道B1出口)電話(03)3621-3621
●田代美恵子氏(駒12・8・A)
タリネ室内会奏団コンサート
マナー・MEMO 288
KZNM 音楽に寄すを興す。
第4回 4月19日
第5回 5月10日
第6回 6月14日
神楽坂 音楽の友ホール
タリネ アンデタイムジク
電話 3621-1603
●河野陽子氏(駒5・3)
橋 照子氏
河野陽子作品集「母さん先生
荻野かよ」(姉妹発行)
平成年9月発行 千円
エッセイ集「河野陽子と姉妹の
友で再会を共にした作品のこと。御
覧の方は松桜会事務局までお申込み。」

御 計 報

藤岡秀健先生 昭和62年9月17日
山口孝次先生 平成元年4月20日
川村喜昭先生 平成元年6月10日
今関 茂先生 平成元年10月29日
城戸みち様 平成2年1月16日
(松桜会 会計監査)
謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

演劇部・駒フィール 全国大会出場に御援助を

母校演劇部と駒場フィールハート

▽編集後記△

会報が、年2回発行となりましてから2年目に入り、少しでもフレッシュなニュースをお届けできましたらと願っております。時期的には、年末年始の御多忙の中に御執筆をお願いするということになり、何かと御無理を申し上げましたが、皆様の御協力によりまして第46号発行の運びとなりました。取材に際しまして、行き届かない点が多かったこと、思いますが、有形無形のお力添えに厚く御礼を申し上げます。

松桜会のコミュニケーションの場として、会員の皆様に御活用いただけてますよう、また会報を育むニュースソースの御連絡、資料の御提供、会報への御意見など、心からお待ちしております。

会報編集委員一同